

日本JC交流委員会がお送りする
出向者応援新聞

[Liaison（リエゾン）とは、ある地点や音をつなぐもの、またつなごことによって新たに生まれるものを持つ意味する仏語。横浜JCと出向者をつなぐ新聞という意味で名付けました。]

〔リエゾン〕
liaison

国際社会が抱える課題解決に向け 民間ができる運動を広く発信

出向者応援企画
Vol.4

公益社団法人日本青年会議所 国際グループ

グローバルコミュニケーション確立会議

社団法人横浜青年会議所から出向しているメンバーを紹介し、
応援する企画。今回は公益社団法人日本青年会議所国際グ
ループ「グローバルコミュニケーション確立会議」をご紹介します。

「20か国」。この数字を皆さんご存知ですか？

とともに、サマーコンファレンスにて国際貢献、国際協力を身近に感じて頂くことをテーマにした

世界について学び、活動の土台を育成する事業を行います。
また、私たちがJCIと協力して取り組む運動を知つていただけ
るために、国連と連携してきた活動の発表を、全国大会にてフォーラムを開催致します。

Jaycee山柳

世界めぐって
移動距離

はやく周

縮葉宗浩

アフリカの
子供を思い
ジユース飲む

荒井敬之

縮葉議長
マイルで家を
建てるらじり

下山進

「想ひ出づくり」
蚊帳の夜
救える命

宇山知成

もう飽きた
アフリカに

阿部哲也

海外に行かないけれど
グローバル

星野信一

サマコンで
知ることだけでも

吉永将也

設置するだけで
人助け

阿部哲也

自販機を

吉永将也

グローバル、
ドメスティック

吉永将也

関係ないぜ

吉永将也

人間だもの

吉永将也

存知ですか？」
これは昨年の東日本大震災時にアフリカエリアから支援を頑張った国の数です。みなさんはこれをどう感じますか？これらの中には世界最貧困の一つであるマリをはじめとするGDPにおいては日本よりも日本は支援を頂けたのでしょうか？それは日本が今まで行なつて来た数多くの国際貢献、国際協力の基礎があり、世界中の仲間たちと強い絆で結ばれているからに他なりません。私たちは国際社会の一員であることを自覚し、国連ミレニアム開発目標（MDGs）を含めた国際社会が抱える課題を解決するための運動を多くの国民に拡げ、恒久的世界平和の実現に向けた意識を醸成する必要があります。

本年度グローバルコミュニケーション確立会議では、MDGs達成に向け意識の向上を図りレベルまで拡げるために小学生を対象とした「MDGs認知向上プログラム」の推進を全国で行う

「なぜこのような国々からも日本は支援を頂けたのでしょうか？」
アム開発目標対象の国々がほとんどです。なぜこのような国々からも日本は支援を頂けたのでしょうか？それは日本が今までに行なつて来た数多くの国際貢献、国際協力の基礎があり、世界中の仲間たちと強い絆で結ばれているからに他なりません。私たちは

国際社会の一員であることを自覚し、国連ミレニアム開発目標（MDGs）を含めた国際社会が抱える課題を解決するための運動を多くの国民に拡げ、恒久的世界平和の実現に向けた意識を醸成する必要があります。

そこで、7月25日～27日の期間にニューヨークにて行われるJCIグローバルパートナーシップサミットに参加することによって、JCIが国連を通して行う世界平和に向けた国際貢献事業の現状を把握し意識の向上を図ります。同時に、次世代の民間外交を進めて行く未来志向な担い手の育成のためにJCI Japan少年少女国連大使をニューヨークで開催し、日本の子供たちが世界の現状や問題点を学びこれから

と感じて頂くことをテーマにしたフォーラムを開催致します。

それと同時に公益社団法人日本青年会議所国際グループ「LOM重点依頼事項」でありますJCI Nothing But Netsキャンペーンを全国のLOMと各地で推進しております。Giving Japan（WEB基金）、また、LOMの皆様からの大切な募金により、マラリア感染の脅威からアフリカの人びとの命を助ける運動を実施しております。

さて、7月25日～27日の期間にニューヨークにて行われるJCIグローバルパートナーシップサミットに参加することによって、JCIが国連を通して行う世界平和に向けた国際貢献事業の現状を把握し意識の向上を図ります。同時に、次世代の民間外交を進めて行く未来志向な担い手の育成のためにJCI Japan少年少女国連大使をニューヨークで開催し、日本の子供たちが世界の現状や問題点を学びこれから



国連と
世界を舞台に
ひとづくり

グローバル、
ドメスティック
関係ないぜ
人間だもの

設置するだけで
人助け

自販機を
サマコンで
知ることだけでも

グローバル
海外に行かないけれど
もう飽きた

「想ひ出づくり」
蚊帳の夜
救える命

アフリカに
もう飽きた
建てるらじり

下山進
宇山知成
阿部哲也
星野信一

吉永将也
吉永将也
吉永将也
吉永将也

荒井敬之
荒井敬之
荒井敬之
荒井敬之

三品智史

ASPAC香港大会に横浜から80名以上が参加

6月7日～10日、香港の地でASPACが開催された。ASPACとは、アジア・オセアニアエリアの各青年会議所会員が集まる会議。毎年開催地を変え、諸問題についての解決策や、具体的の方策についての討議が行われている。また、人種、国籍の壁を超えた交流の場も設けられている。我々横浜青年会議所からも、80名以上のメンバーが参加。近年のASPACの中では、かなりの参加人数である。



具志堅委員長率いるJCI交流委員会が、4度の現地調査を重ね、我々をアテンド。9日の土曜日に開かれ

北九州全国大会 げんちょ一便り

開催まで100日あまりとなつた第61回全国会員大会北九州大会。今回は大会の舞台となる北九州市について少し紹介します。北九州市は1963年に五つの市が対等合併し、東京・大阪・名古屋・京都・横浜・神戸に統く第7の人口百万都市となつたビッグシティ。古くから石炭、鉄鋼などの重化学工業で栄え、

特に戦後は高度経済成長を支えた街でもありました。ところが繁栄の陰で公害問題が顕在化。「60年代後半～'70年代前半にかけて大気汚染が深刻化し、降下ばいじん日本一」という不名誉な記録まで残してしまいました。

そこで'70年代中盤以降、行政と企業は環境と工業の発展を両立する都市へと方向転換。取り

組みは見事に成功し、かつての青い空を取り戻すことができたのです。1987年には環境モデル都市にも指定されました。そうした改革の原動力となつたのは、ひとりひとりの市民が公共のために尽くそう、という「公の精神」。公害や経済衰退との厳しい戦いの中で、市民の心に独特の精神性が培われたのでした。(次号につづく…)

PACが開催された。ASPACとは、アジア・オセアニアエリアの各青年会議所会員が集まる会議。毎年開催地を変え、諸問題についての解決策や、具体的の方策についての討議が行われている。また、人種、国籍の壁を超えた交流の場も設けられている。我々横浜青年会議所からも、80名以上のメンバーが参加。近年のASPACの中では、かなりの参加人数である。

具志堅委員長率いるJCI交流委員会が、4度の現地調査を重ね、我々をアテンド。9日の土曜日に開かれ

たLOMランチョンは、香港の繁華街尖沙咀(チムサアチャヨイ)にある高級広東料理「王子飯店」で行われ、おいしい料理とお酒で楽しい時間を共有することができた。グローバルコミュニケーション確立会議へ議長として出向している稲葉崇浩君も駆けつけ、挨拶した。

同日21時からは

Lホテルにてジャパンナイトを開催。井川会頭の挨拶から

スが並び、外国人が並び、深々と頭を下げた。このことは多くの参加者の胸をうち、次々に立ち上がり、復興に力を注ぐ日本国民にむけて、称赞と応援の温かい拍手が贈られ、会場を包みこんだ。次回の国際大会は、11月に開催される世界会議台北大会。こちらも是非参加し、JCI交流委員会メンバーと出向者の活躍を見に行こう。

(文／森松長治・小林慶子)
I交流委員会)で

友好JC共同事業 被災地支援・視察スタディーツアー開催！

来る7月7日(土)～8日(日)、「友好JC共同事業被災地支援・視察スタディーツアー」を開催します。

この事業は(社)横浜青年会議所と(一社)神戸青年会議所が共に立案し、(公社)仙台青年会議所、(社)気仙沼青年会議所、(社)石巻青年会議所のご協力を得て実現した共同プロジェクト。LOM間の交流を図りながら、被災地支援に繋がる仕組みを考えるツアーです。

JCメンバーの企業訪問などのプログラムを通して、視察先の人々とツアー参加者間で“顔の見える関係”を構築し、意見交換の場も設けます。今回の事業をモデルケースとし、以後全国各地の青年会議所からの参画により継続的な支援の輪を広げるための新たな試みと致します。

さらに4月例会で町長にご講演いただいた、南三陸町役場仮庁舎を訪問し、町内のご案内をしていただくことになりました。

参加希望の方は、日本JC交流委員会・北野委員長まで大至急ご連絡を！

■友好JC共同事業被災地支援・視察スタディーツアー

- ・開催日時：2012年7月7日(土)～8日(日)1泊2日
- ・開催場所：仙台駅発着宮城県各所(気仙沼・南三陸・石巻・女川など)
- ・費用：ツアーデ金：27,000円程度(仙台駅発着)

バス代、宿泊代、保険代含

※上記に加え、仙台までの往復費用(自己手配)が別途かかります。

■参加募集人数：20名程度

■ツアースケジュール

7月7日(土)	
9:45	仙台空港(仙台JCバス乗車)
10:15	仙台駅集合・朝礼(横浜JC)
10:45	仙台駅出発
	(車中催挨拶、行程説明・自己紹介等)
12:45	昼食(道の駅かわさき格之進)
15:15	気仙沼着～(株)カネマ(気仙沼JC理事社経営)訪問～市内視察
16:45	気仙沼発
18:15	南三陸ホテル観洋
18:45	グループディスカッション
20:30	夕食
21:45	交流懇親会
7月8日(日)	
7:00	起床朝食
8:00	おらほのラジオ体操(ラジオ石巻取材)
8:30	ホテル出発
9:00	南三陸町役場(講演及び町内視察)
11:00	さんさん商店街視察
11:30	南三陸町発
13:00	石巻着(昼食未来郵便制作(有)飛翔閣)
14:30	女川着～(株)高政(石巻JC監事経営)訪問～女川視察
16:00	女川発(車中閉会ご挨拶)
17:00	仙台駅到着(横浜JC終礼・解散)
18:00	仙台空港(神戸JC下車)